

平成 29 年度 生態学研修 (基礎コース) ご案内

このたび IGES 国際生態学センターは、森づくりや自然再生などの活動を技術的に支えるリーダー的人材の育成をねらいとした生態学研修 (基礎コース) を下記要領で開催いたします。

本コースでは、「生物多様性と植生調査」をテーマとし、生物多様性保全に資する生態学的な基礎概念や植生調査方法などについて、室内講義と野外実習を通して理解を深めます。皆様のふるってのご参加をお待ち申し上げます。

日程：平成 29 年 7 月 10 日 (月) 会場：横浜情報文化センター 大会議室

09 : 45-10 : 50	生物多様性と植生学 村上 雄秀 (IGES 国際生態学センター 上席研究員)
11 : 00-12 : 00	生物多様性・生態系サービスに関する研究と政策の国際動向 高橋 康夫 (IGES 自然資源・生態系サービス領域 研究員)
13 : 00-15 : 55	植生調査とははじめ (室内・野外) 矢ヶ崎朋樹 (IGES 国際生態学センター 研究員)
16 : 10-17 : 30	植生景観史入門 原田 洋 (IGES 国際生態学センター シニアフェロー/横浜国立大学名誉教授)

平成 29 年 7 月 11 日 (火) 会場：神奈川県立四季の森公園・横浜市緑公会堂 会議室

10 : 30-11 : 50	植物社会学的植生調査法 I (野外) 奥田 重俊 (横浜国立大学名誉教授)
13 : 00-14 : 20	植物社会学的植生調査法 II (野外) 奥田 重俊 (横浜国立大学名誉教授)
15 : 00-16 : 20	標本整理と種の同定 (室内) 奥田 重俊 (横浜国立大学名誉教授)

平成 29 年 7 月 12 日 (水) 会場：横浜情報文化センター 大会議室

10 : 00-10 : 30	フォローアップ 矢ヶ崎朋樹 (IGES 国際生態学センター 研究員)
10 : 40-12 : 00	日本の植生 鈴木 伸一 (東京農業大学短期大学部 教授)
13 : 00-14 : 20	地域の植物相調査と標本データの活用 田中 徳久 (神奈川県立生命の星・地球博物館 情報資料課長/学芸部研究職兼任)
14 : 35-15 : 55	生態学の概念と生態系 鈴木 邦雄 (IGES 国際生態学センター センター長)
15 : 55-16 : 10	閉講式・修了証授与

参加費：一般 10,000 円 (学生 5,000 円) [3 日間]

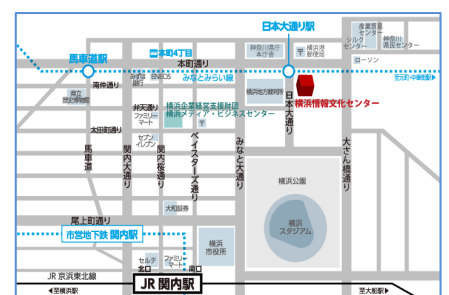
募集人員：20 名 (申込先着順)

申込方法：申込票に必要事項 (お名前、ご住所、電話・FAX 番号、メールアドレス、年齢、ご所属) を記載の上、ファックス、メールのいずれかで下記までお申し込み下さい。後日「払込用紙」を送らせていただきますので、郵便振替にて参加費をお支払い願います。申込票は下記のウェブサイトより入手できます。

公益財団法人地球環境戦略研究機関 国際生態学センター (IGES-JISE)
〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-14-27 新横浜第一ビルディング 3 階
Fax. 045-472-8810 Mail: ecoinfo@jise.jp (担当：大槻)
お問い合わせ Tel. 045-548-6270 (受付時間 月～金 9 時 30 分～18 時)
ご案内ウェブサイト: http://www.jise.jp/info/info_H29kenshuu1.html

室内講義会場 (横浜情報文化センター) のご案内

- ・みなとみらい線 「日本大通り駅」3 番出口より 徒歩 0 分
- ・JR 「関内駅」南口 または 横浜市営地下鉄 「関内駅」1 番出口より 徒歩 10 分



講師紹介



鈴木 邦雄 (すずき くにお)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター センター長／横浜国立大学名誉教授
理学博士 (東北大学)

1948年、宮城県生まれ。1970年東北大学理学部卒業後、横浜国立大学助手、助教授、教授、学長を歴任し、2016年9月より現職。熱帯アジアのマングローブ、泥炭湿地生態系を対象とした生態学的調査研究をはじめ、企業の環境戦略や地域環境計画、ミティゲーションなどに関して、生態学の視点から調査研究を進めている。著書には『エコマネジメント入門』(単著、有斐閣)、『水に浮かぶ森』(単著、信山社)、『環境共生型社会のランドデザイン』(共著、NTT出版)、『マネジメントの生態学』(単著、共立出版)、『熱帯生態学』(共著、朝倉書店)などがある。



奥田 重俊 (おくだ しげとし)

横浜国立大学名誉教授
理学博士 (東北大学)

1936年、秋田県生まれ。千葉大学文理学部卒業後、国立科学博物館附属自然教育園技官、横浜国立大学環境科学研究センター助教授、同大学教授を経て、現在、横浜国立大学名誉教授。地域フロラ(植物相)に精通し、横浜国立大学を退官後も植物観察グループ・コミュニティを主宰し、一般市民や学生の指導に取り組む。著書は、『日本植生誌全10巻』(分担執筆、至文堂)、『河川生態環境評価法』(共編、東京大学出版会)、『日本野生植物館』(編著、小学館)など多数ある。



原田 洋 (はらだ ひろし)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター シニアフェロー／横浜国立大学名誉教授
学術博士 (北海道大学)

1946年、静岡県生まれ。横浜国立大学教育学部卒業後、横浜国立大学助手、助教授、教授を経て、現在、横浜国立大学名誉教授。土壌動物の生態をはじめ、環境保全の機能評価や過去の植生景観を題材とした研究成果が多数ある。著書には、『現代日本生物誌 マツとシイ』(共著、岩波書店)、『植生景観史入門』(共著、東海大学出版会)、『小さな自然と大きな自然』(単著、東海大学出版会)、『環境保全林』(共著、東海大学出版会)、『土壌動物—その生態分布と多様性』(共著、東海大学出版会)、『環境を守る森をつくる』(共著、海青社)など多数。



村上 雄秀 (むらかみ ゆうひで)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 上席研究員
博士(学術) (広島大学)

1955年、東京都生まれ。1977年立教大学理学部卒業。助国際生態学センター主任研究員(1993-1999年)、同センター専門研究員(2000-2007年)を経て、現職。IGES-JIISEでは「アジア・太平洋地域を中心とする植生体系の調査・研究」を担当。近年は、西日本の防災海岸林整備のための植生調査および神奈川県内の生物多様性ホットスポット選定・更新に取り組んでいる。著書には『日本植生誌全10巻』(分担執筆、至文堂)、『図説 日本の植生』(分担執筆、朝倉書店)、『環境保全林形成のための理論と実践』(分担執筆、国際生態学センター)などがある。



鈴木 伸一 (すずき しんいち)

東京農業大学 短期大学部 教授
博士(学術) (横浜国立大学)

1958年、群馬県生まれ。1979年明治大学農学部卒業。群馬県公立高等学校教諭(1987-1998年)、(財)国際生態学センター主任研究員(1998-2007年)、IGES 国際生態学センター主任研究員(2007-2008年)を経て、現職。日本国内外での植物社会学的調査・研究をはじめ、主に里山を中心に植生や植物相に係る研究を進めている。著書には、『日本植生誌第3-10巻』(分担執筆、至文堂)、『よこすかの植生』(分担執筆、横須賀市)、『環境緑地学入門—理論と実際』(編著、コロナ社)、『植生景観とその管理』(分担執筆、東京農大出版会)などがある。



田中 徳久 (たなか のりひさ)

神奈川県立生命の星・地球博物館 情報資料課長／学芸部研究職兼任
博士(学術) (横浜国立大学)

1965年、神奈川県生まれ。1990年横浜国立大学大学院修了後、神奈川県立中央青年の家・指導員を経て、神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員に着任。博物館に集められた神奈川県産の植物標本の属性情報を用いて県内の植物地理区分や分布類型などを解析している。また、現在は『神奈川県植物誌2018』の編纂を精力的に進めている。主な著書に『神奈川県植物誌2001』(分担執筆、神奈川県立生命の星・地球博物館)、『横浜の植物』(分担執筆、横浜植物会)、『フィールドワークの達人』(分担執筆、東海大学出版会)などがある。



高橋 康夫 (たかはし やすお)

地球環境戦略研究機関 自然資源・生態系サービス領域 研究員
修士(ケント大学)

1978年、神奈川県生まれ。2002年北海道大学農学部卒業。環境コンサルタント等に就任した後、2010年、英国ケント大学ダレル保全生態学研究所の保全とツーリズムに関する修士課程修了。森林、生態系、生物多様性保全及び自然資源管理を専門とする。現在はIGES 自然資源・生態系サービス領域に所属し、里山・里海と生物多様性保全に関する国際プログラム、生物多様性・生態系サービスに関する政府間プラットフォーム(IPBES)等に就任する。著書には『川の蛇行復元〜水理・物質循環・生態系からの評価』(分担執筆、技報堂出版)などがある。



矢ヶ崎 朋樹 (やがさき ともき)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 研究員
博士(環境学) (横浜国立大学)

1973年、神奈川県生まれ。1997年横浜国立大学教育学部卒業後、(財)国際生態学センター研究員(1998-2007年)を経て、現職。IGES-JIISEでは、里山、生物多様性、環境教育に焦点を当て、植物利用にまつわる村落住民の知恵や生態系サービスの評価に係る調査・研究を進めている。研究員着任当初から人材育成事業にたずさわって、研修・講座の企画立案から実践指導まで幅広く取り組んでいる。著書には『環境を守る森をつくる』(共著、海青社)などがある。本研修ではコースリーダーを務め、全プログラムに同行する。

過去の研修のようす



室内講義



植生調査の野外実習



標本整理と種の同定



奥田講師の講義

主催者より

◆本コースは全プログラム(3日間)にご参加の方を優先的に申し込みを受け付けます。

◆6月30日時点で定員に達していない場合は、単日参加のお申し込み(一般4,000円/日、学生2,000円/日)を受け付けます。